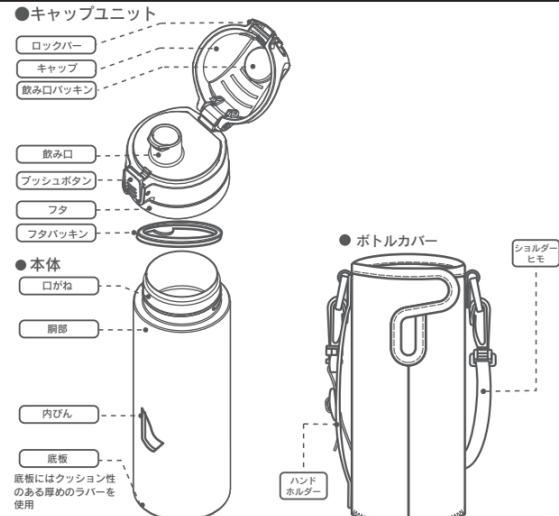


# 取扱説明書

## ステンレス製携帯用まほうびん

### KBTA470



このたびは、当社のステンレス製携帯用まほうびんをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、本書は、万一ご使用中にわからなくなった時、お役に立ちますので、いつでも見られるところに、大切に保管してください。

容量：470mL

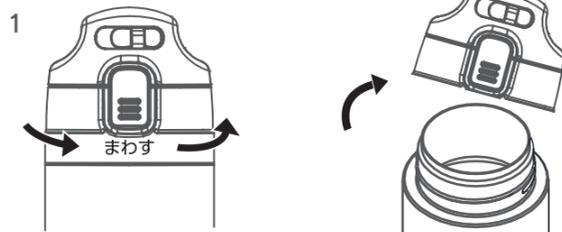
#### ご使用前に

- はじめてご使用になる際は、各部品がそろっていることを確認の上、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損等がないか確認してからご使用ください。不具合があった場合、使用しないでください。

#### ご使用方法

\*保冷専用です。熱い物はいれられません。内圧が上がり、キャップユニットがはずれたり、飲み物が漏れたりする恐れがあります。  
\*熱い飲み物が直接口内に入るため、やけどの原因となります。

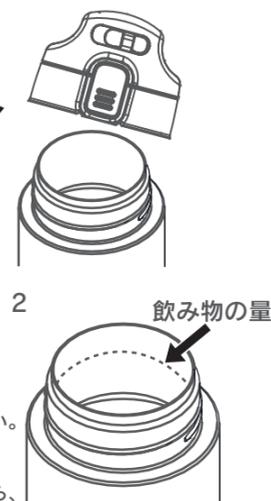
#### 1. キャップユニットをはずす



#### 2. 飲み物を入れる

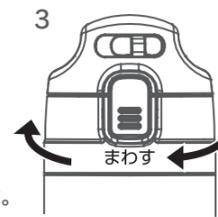
\*あらかじめ、本体に少量の冷水を入れ、1分程度置き、予冷してから入れ替えると保冷に効果的です。

\*飲み物の量は、右図の位置までにしてください。入れすぎるとキャップユニットを締めた時に中身があふれる場合があります。入れすぎた場合、少量の飲み物を減らしてから、キャップユニットを締めてください。



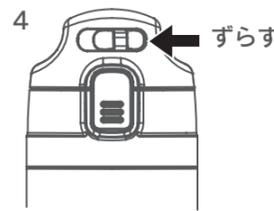
#### 3. キャップユニットを締める

\*キャップユニットを矢印の方向にまわし、しっかりと締めてください。



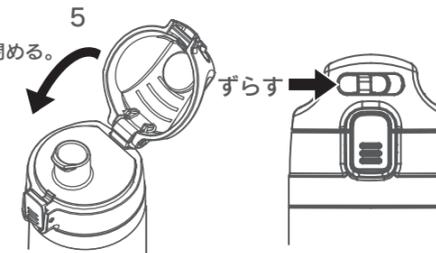
#### 4. フタを開けて飲み物を飲む

- ①本体を立てた状態でロックバーを左へずらす。
- ②プッシュボタンを押してフタを開け、ゆっくり傾けながら飲み物を飲んでください。



#### 5. 飲み終わったら

- ①飲み終わったら、本体を立てた状態でフタを閉める。
- ②ロックバーを右にずらして、ロックする。



#### ご使用上の注意

- 飲み物の保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。(故障や事故の原因となります。)
- 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。また、いたずらには注意してください。(やけど、ケガ等の恐れがあります。)
- 絶対に修理・分解・改造は行わないでください。(故障や事故の原因となります。)
- ストーブやコンロ等火気のそばに近づけないでください。また、直接日光の当たる場所に放置しないでください。(変形や変色の原因となります。)
- 電子レンジで加熱しないでください。(ケガや事故・故障の原因となります。)
- 冷蔵庫に入れてください。(飲み物が漏れたり、故障や事故の原因となります。)
- 飲み物を入れて持ち運びする際は、キャップユニットを上にした状態で移動してください。(横に倒したままでの移動は飲み物が漏れ、ものを汚す原因となります。)
- 運転中は使用しないでください。
- キャップユニットを持って持ち運びをしないでください。(故障や事故の原因となります。)
- バッグなどに入れる場合は、必ず漏れないことを確認した上で本体を縦置きにしてください。また、携帯電話・カメラなどの精密機器は、絶対にボトルと一緒に入れないでください。
- 飲み物の量は、口金の下の位置までにしてください。(入れすぎると締めるときにあふれて、ものを汚す原因となります。)
- ボトルカバーのハンドホルダーやショルダーヒモを持って振り回さないでください。(故障や事故の原因となります。また過度の荷重がかかるとショルダーヒモが外れる恐れがありますので絶対に行わないでください。)
- ショルダーヒモを首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。(窒息などの危険性があります。)
- 倒したり、落としたり、ぶつけたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。(製品が破損する恐れがあります。)
- 飲み物を入れた状態で長時間放置しないでください。(腐敗や変質の原因となります。)
- お茶などはお早めにお飲みください。(長時間保存するとお茶の色や味が変わります。)
- 製品の構造上、温度が高いときにフタに水滴が付く(結露する)ことがありますのでご注意ください。
- 底板を洗浄の際は無理にめくったりしないでください。(はがれる場合があります。)
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。(キズや漏れの原因となります。)
- 車中など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。飲み物がこぼれ、やけどやものを汚す原因となります。
- 専用のドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度、サイズを確認してください。ホルダーの強度や固定が不十分だと、破損したり外れて落下する恐れがあります。
- 缶ジュース・缶ビールなどをボトルに入れしないでください。
- 次の物は絶対に入れないでください。
  - \*ドライアイスや炭酸飲料等。(内圧が上がり、内容物が吹き出る恐れがあります。)
  - \*牛乳・乳製品・果汁等。(腐敗や変質の恐れがあります。)
  - \*味噌汁・スープ等の塩分を含んだもの。(サビの恐れがあります。)
  - \*果肉・お茶の葉等。(つまる、漏れるなどの原因となる恐れがあります。)

#### お手入れ方法

使用後は、必ずその日のお手入れしてください。お手入れするときは、柔らかいスポンジで行ってください。

- 本体 (外側・内側) のお手入れ  
本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- キャップユニット  
キャップユニットは丸洗いでできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。
- パッキン  
パッキンをキャップやフタから取り外し、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- ポトルカバー・ショルダーヒモ  
洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。汚れた場合は水またはぬるま湯で手洗い後、日陰で干ししてください。

#### お手入れ上の注意

- 本体を洗ったあとは、すぐに水分を拭き取ってください。(水滴のあとが残ったり、サビやものを汚す原因となります。)
- 塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属たわし、みがき粉、クレンザー等は使用しないでください。(キズやサビ、故障の原因となります。)
- 本体やキャップユニットの煮沸、及び自動食器洗浄機や食器乾燥機等は使用しないでください。(変形や漏れの原因となります。)
- 本体・キャップユニットは漬け置き洗い等はしないでください。
- キャップユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。お手入れの際はそれぞれ取り外した状態で行ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

#### こんなときは

次の項目について点検をおこなってください。

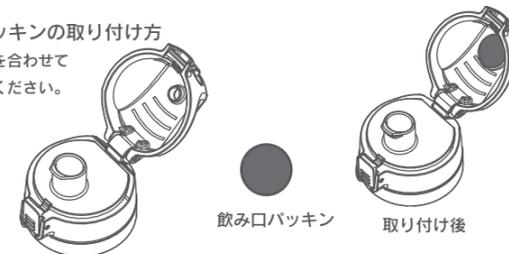
症状	点検するところ	処置
飲み物が漏れた	キャップ、フタがきつちりしてしまっていますか。 飲み物を入れすぎていませんか。 パッキンが正しく取り付けられていますか。 パッキンが消耗していませんか。	確実にしめてご使用ください。 規定の量まで入れてください。 正しく取り付けてください。 部品をご購入の上、交換してください。
本体内側が変色した	サビのような赤い斑点が見えませんか。 ザラザラしたものではないですか。	水に含まれる鉄分が付着しております。食酢を10%程度入れたぬるま湯を入れ約30分後に良く洗ってください。 水に含まれるカルシウム等が付着しております。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を入れ、キャップを取り付けずに約3時間後に良く洗ってください。
保冷が効かない	十分に冷たい飲み物を入れていませんか。 飲み物の量が少くないですか。	冷たい飲み物を入れてください。また、あらかじめ本体内びんを予冷しておくとう�효的です。 水や飲み物の量を多くすると効果的です。
異臭がする	内容物を長時間入れたままにしていますか。	ご使用後はきれいに洗い、十分乾燥させてください。

#### パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因となります。お手入れなどで、飲み口パッキンやフタパッキンを取り外したあとは、正しく取り付けてください。

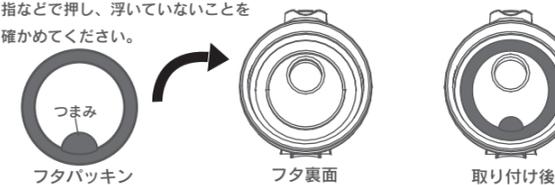
#### ●飲み口パッキンの取り付け方

凹凸の位置を合わせて取り付けてください。



#### ●フタパッキンの取り付け方

フタパッキンのつまみ部分を飲み口の反対側にしてフタにはめ込んでください。指などで押し、浮いていないことを確かめてください。



パッキンは消耗品です。約1年間を目安にご確認ください。消耗のある場合は、お買い上げの販売店で品名、品番をお確かめのうえ、お買い求めください。